

07.23

THU
2026

16:35 – 18:05 5 限

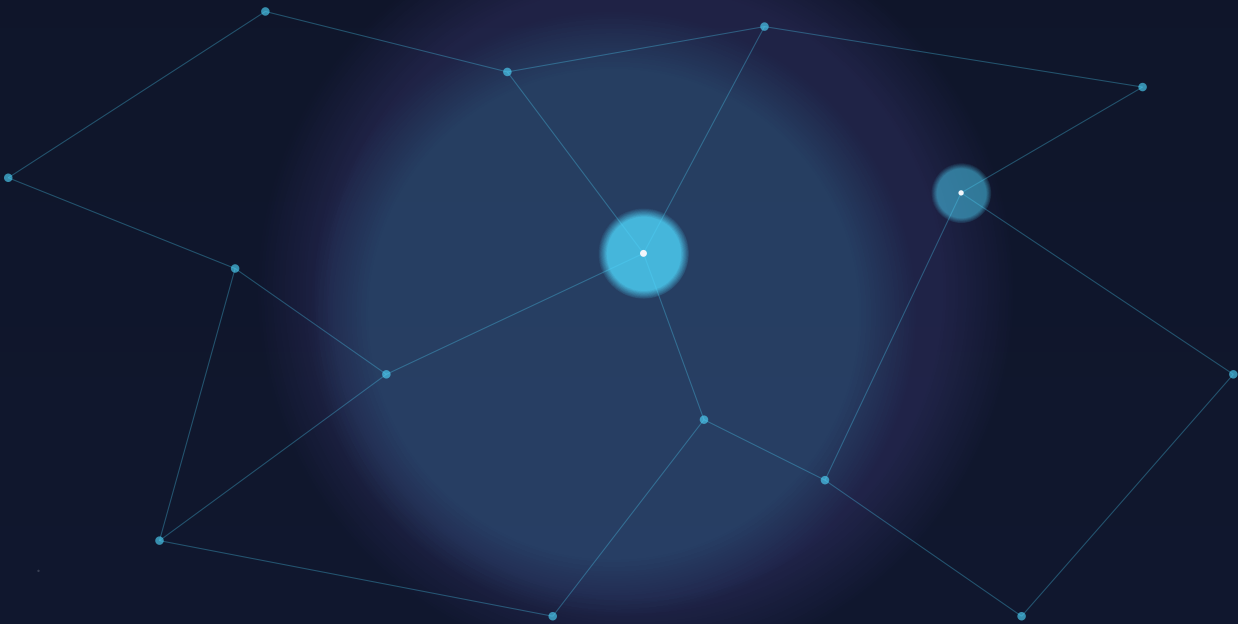
東京女子大学 6 号館 6112 教室

物理を専門としない方も歓迎・入退室自由

稠密性定理とその「宙吊り」： 「内から」というあり方から 考える複雑系の数理モデル

THE DENSITY THEOREM AND ITS 'SUSPENSION': MATHEMATICAL MODELS OF
COMPLEX SYSTEMS CONSIDERED FROM THE 'FROM-WITHIN' MODE OF BEING

OPEN TO ALL



SPEAKER

春名太一

TAICHI HARUNA

東京女子大学現代教養学部情報数理科学科 情報数理科学科主任 (学部) 兼情報数理科学専攻主任 (大学院) (2026 年度～)

ABSTRACT 概要

複雑系科学の基本的な関心事項として部分と全体の関係がある。圏論の稠密性定理は、部分と全体の関係についての主張として解釈できる。前半では、有向ネットワークを例としてこのことを直感的に説明する。後半では、生物系の理解に重要な「内から」というあり方の一つの定式化が稠密性定理を「宙吊り」にすることで得られることを説明し、これに基づく遺伝子調節ネットワークの臨界状態への自己組織化などの研究例を紹介する。

圏論

内部観測

自己組織化

生命システム

